

『お昼休み課題』 開始のお知らせ cf 『週末課題』

作文が上手になるにはどうすればよいですか。もしよければ、週末だけでなく月、木にも課題を出していただけますか。



子供からのメッセージが届きました。教師冥利につきます。頑張る子、応援しますよ！



『お昼休み課題』は、次のように開始します。

- ◇毎週 水曜日のお昼休み → 13:30~13:45 (校長室)
- ◇持ってくるもの → 筆記用具
- ◇対象児童 → 4年生以上の希望者
- ◇参加条件 → 当日の水曜日3校時の休み時間までに、校長室前に貼ってある「参加希望書」に名前を記入 (問題用紙印刷用)



今回のポイント説明「起・承・転・結」



学習の進め方の説明。学習に意欲的な子どもたちの後ろ姿。

参加者の自己評価と感想 ※学校便り35号の続き

[B] →なぜ、今日の成績をつけたかというと、少し友達と相談して自分の力でやることができていなかったからです。これからは、できなくてもすぐに聞かずに自分の力でできるようにしたいです。また、校長先生の解説を聞いてしっかり理解できてよかったです。(宮里いろは 5年)

[B] →私がBをつけた理由は、4年生の中でははやかったけれど、ひっかかった問題がとても多かったのでBにしました。初級編はかん単だったけれど、中級編はとてもむずかしかったです。でも、いろいろならったのでよかったです。(久高千穂 4年)

[B] →初級から上級までを終わらせるまでに、2日もかかってしまったし、何度も間違えてしまったからこの成績をつけました。来週からはまず1日ですべてのプリントを終わらせられるように頑張りたいです。(仲程麻陽 5年)

【B】→B の理由は、中級の時に、起承転結を分けるのが難しかったからです。問題を解くのが楽しかったので、また、やりたいです。(友寄真那 6年)

自己評価と感想にかける時間はわずか2分程度。短い時間にまとめられる力も育てたいです。

6年2組 TY さんの解答紹介

「想像力」をつける問題。()の中に自分で考えたことばをいれます。

さすが優秀なTYさん、「沖縄的な・彼独特の」解答に採点しながら笑ってしまいました。一部だけ紹介します。



()の中にどんな言葉を入れるか、日常の読書量、体験知等々が想像力へいってきますね。

中学年より高学年の児童が初級編にかける時間が短く、かつ、楽しんで解答していました。

◇隣の家が (急にお金持ちになった)。

◇母は野菜を (一瞬で酢豚に変えた)。

◇夏休みは (しに短い)。

◇ぼくらは海で (うにを食べた)。

◇電話が急に (台から落ちて壊れた)。

想像力をつける問題 (初級編より)



清掃時間終了とともに集まった参加者。自らの意志での参加というだけあって、座ってすぐに集中モード突入。このあと、さらに数人の児童が参加し、校長室ソファーは満席となりました。